

病害虫防除特集

～被害圃場ゼロ計画～

炎天下が続く中、害虫が動き出す...!

カメムシ類 毎年斑点米による等級低下があります!

被害例:吸汁による被害粒増加(斑点米、特に早生で多い)

防除とあわせて出穂期2週間前くらいに畦畔の草刈りを行ってください!(ただし出穂期頃に行くと田んぼに侵入するのではない!)



ウンカ 19、20年には県内で大発生し、大きく被害が出ました。

被害例:吸汁による茎数減少、稔実阻害、屑米増加



○要チェック! '抜け'が無いよう ご注意ください。

圃場の調査や防除作業では、虫がよく目につく稲の上側に目が行きがち...

ですが、虫(特にトビイロウンカ)は株元で生息していることが多いので株元に目を向けてみてください!また薬剤散布も下に届くよう留意してください!

Check!

↓また、防除を開始する基準や薬剤(下表)も参考にどうぞ!

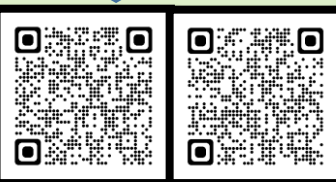
トビイロウンカ:7月上旬～8月上旬、成幼虫0.2頭/株
8月中旬～下旬、成幼虫1頭/株

カメムシ類:穂揃い期とその7～10日後に防除

大分県のお米に関するページ(左)
大分県病害虫対策チーム(右)



ウンカの詳しい対策や水稻の最新情報を掲載しています→



穂いもち本格化 シーズン到来

日照不足と多湿が続く状態はいもち病が発生しやすい条件です。

多発生が予想される場合、「出穂2週間前の粒剤施用と穂揃期の液剤か粉剤の散布」もしくは「穂ばらみ期と穂揃期の液剤、粉剤による2回散布」を行ってください。

薬剤名称	防除対象			使用量(10a)	散布適期(散布晩限)	使用回数
	いもち	ウンカ	カメムシ			
コラトップ粒剤5	○	×	×	3～4kg	出穂30日～5日前	2回以内
ビームエイト スタークルゾル	○	○	○	60～150L (1000倍希釈)	穂ばらみ期～穂揃期 (収穫7日前まで)	3回以内
トライスタークル粉剤DL	○	○	○	3～4kg	穂ばらみ期～穂揃期(収穫14日前まで)	2回以内
ゴウケツモンスター粒剤	○	○	○	3kg	出穂10～5日前まで(収穫45日前まで)	1回以内

